

町民こぞって協力の賜もの

町政便り

赤字財政 遂に克服さる

昭和二十九年赤字団体として「地方財政再建特別措置（昭和三十年法律第一九五号）」の適用を受け、昭和三十一年度及び三十一年度の二ヶ年にこれが必要具体的措置の既定方針に基づいて実施し、本町の財政建直しを図りたる結果、計画第一年度に於て、別表にみる如く多額の赤字を解消し（遂に町財政を）黒字にすることに成功しました。

営々と官行造林の苗木植え



発行所
福岡県田川郡方城町役場
発行人 中野 実
【通第六十三号】
印刷所
冷牟田印刷合資会社

年度	昭和29年度	昭和30年度	昭和31年度
歳入	50,829	70,408	53,834
歳出	58,204	73,767	53,787
差引	△7,375	△2,959	47

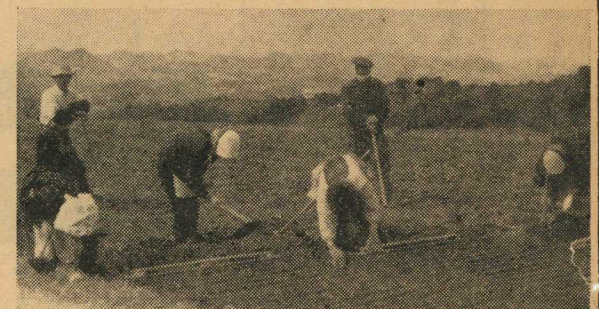
(註)各年度の赤字解消額は
昭和30年度—441万6千円
昭和31年度—295万9千円
合計 737万5千円

タバコは方城町内の店で買って下さい

町内で売れたタバコの百分の九はタバコ消費税として町の収入となり、学校、道路、その他の事業の大きな財源となります。町民皆さまの御協力をお願いします。

農山林振興 基本計画成る

方城町発展、百年の計を目指して大造林計画が立ち上げられ、着々その成果が認められつつあり、調査の分析検討を行い、各部落から事業の申込みを取り、農山村振興対策事業「農山林振興」の基本計画が完成し、一月十一日、県からの係官立会のもとに、協議会を開き、最後の確認の上、同月十三日、県に提出を完了いたしました。明るい、住みよい郷土の建設は進み、強力を努力しています。



着々進む造林事業 苦しみを乗り越えて

いま方城では、日曜も農閑期もない。町繁栄の根本事業「造林」に向けて、人々はあらゆる困難と闘っている。弁城五〇町歩、畑区五〇町歩合計百町歩の、官行造林の植つけ作業はすでに始められ、着々と進展を見せている。(写真左上)一方(写真右下)弁城野地内では、一年生のヒノキ苗木の床番が行われた。面積、町歩

春の防火運動

全町民のひとしく願ひ求める所でもあります。この計画を、実現していく力も、又全町民にあります。どうか、いっその御理解と、御協力をお願いします。

春の火災予防運動が来る二月二十八日から三月十三日まで二週間全国的に実施され、一般の火災予防思想の向上、消防力の整備充実を図り、火災の絶滅を期することになりました。これからの三、四、五月は例年気象的な悪条件が伴うので大火が発生し易い季節とされています。事実、大火を発生期別にみると、その三分の二は、この季節に発生している状態です。また、これによる損害は年間火災損害を大きく左右されるほど多額なものであり、これが防火は国家的にも、消防施設上にも非常に重要なことであると考へます。町民の皆様この主旨を理解され火災防止に御協力願ひます。

ひねくれた子供

問
小学六年生の三男ですが、勉強についても「悪くてもいいよ」などと言った調子で何でもすなおに受取った事がない。必ずひねくれた返事をして困っております。こんなことは将来が思いやられませぬ。どうしたらよいでしょうか。

答
子供のひねくれで、まず、考えられることは劣等感です。特に小学生らしい子供には劣等感が強く現れる時期がありまして、自分のすることが人と違っていたり人に劣っていたりすると、それがひねくれとなってあらわれます。あなたのお子さんの場合「兄ちゃんに勉強が出来るのにお前は出来ない」等と云って勉強を無理にさせることはありませんか。朝から晩まで口やかましく云うとか、兄弟をわけへだてするような事があると子供の自尊心を傷つけ反抗心を起させ、その抑えつけられた気持ちがひねくれとなって現れます。

子供は心の底で特に温かく扱われ且つ人から認められることを求めているのです。そのためには成績の悪い子供でも良いところを少しでも見つけそれをほめてあげてやる様にすることです。

いつも子供達は何んな事を考えているか、どう感じているかというところをよく理解し子供のひねくれた原因をつくらぬようにすることが大切です。

(田川警察署から)